

日本のがん対策を支える「がん対策情報センター」の役割と活動

患者の不安解消と医療水準の均てん化を目指し、2006年に設立。日本のがん対策を総合的に推進する中核機関。

2021年 社会と健康研究センターとの統合によりがん対策研究所に

センターの使命と信頼を支える6つの機能

設立時点

患者の声から生まれた
「がん対策の中核」

国民の不安を解消し、どこにいても
質の高い医療情報を受けられる
体制を提案。



情報提供



患者必携: 手に取るガイド
ウェブだけでなく、冊子を通じて
「がんになったらまず読むべき
正確な情報」を届ける。

全国に広がるがん診療支援ネットワーク



相談支援センターの
バックアップ
全国の拠点病院に設置され
た相談窓口の相談員に対
し、専門的な研修を実施。



科学的根拠に基づく
ガイドラインの普及
診療ガイドラインや筋朮の
最新情報を収集し、わかり
やすい形で国民へ周知。



診療支援



診療支援



臨床研究支援



統計



システム管理



研究企画

がん対策情報センター
若尾 文彦先生
ご講演(2026.3.9)スライド
から、AIで作成

がん診療連携拠点病院等
空白のがん医療圏

461箇所
(地域がん診療病院を含む)

都道府県がん診療連携
拠点病院連絡協議会

212箇所

5箇所

354箇所
(空白のがん医療圏)

平成14年
2002

179箇所

平成18年
2006

令和6年
2024

56箇所